アンケート対応作業メモ

凡例 二重線：削除 強調，下線：追加

通し番号　279 ＨＰ番号 第5章　平面交差の幾何構造 ・隅切半径の具体的な数値の添付：通行方法に関しては道路構造令と同様の表が添付されているが交差角度と通行方法の組合せによる隅切半径の一覧表があれば便利と思われます。 ・実際の走行軌跡による隅切半径の数値：現道交差点改良においては、走行軌跡での検討が多く、規定の隅切半径の運用が困難な場合がある。 セミトレーラの旋回軌跡の実測を利用した隅切半径の数値があれば便利と思われます。（但し、適用はやむを得ない場合になると思われますが）。 ・小型自動車の扱い：セミトレーラ、普通自動車と同様に小型自動車に対しての記載があれば便利。 ・高齢者及び身体障害者（ハンディキャップ者への対応）：高齢者及び身体障害者に配慮した解説の追加。 走行軌跡の図解法に関して ＜対応方針：設計車両、通行方法、車線幅員、交差角度等、隅切半径は一概に決まらないので、**現行の記述でOKと考える。** ・データ収集するが一覧は不可。＞
○作業の進捗状況 現行の記述で OK とし、特に書き換え等はしない。

（記述案）

現行の記述をそのまま引用。